

テーマ	貸倒引当金、消耗品				
学籍番号					氏 名

1. 次の一連の取引について仕訳を示しなさい。

(1) ×7 期の決算にあたり、売掛金 ￥1,500,000 に対して 3%の貸倒引当金を設定する。

借方		貸方	
貸倒引当金繰入	45,000	貸倒引当金	45,000

(2) ×8 期において、×7 期発生売掛金が ￥30,000、×8 期発生売掛金 ￥20,000 が貸し倒れた。

借方		貸方	
貸倒引当金	30,000	売掛金	50,000
貸倒損失	20,000		

(3) ×9 期において、×8 期に貸倒れの処理をしていた売掛金 ￥10,000 を現金で回収した。

借方		貸方	
現金	10,000	償却債権取立益	10,000

2. 期中に現金で消耗品を ￥50,000 購入し、決算日における未使用高は ￥12,000 であった。以下に示した(1)・(2)の2つの方法により、①消耗品の購入時と②決算時の仕訳を示しなさい。

(1) 購入時に資産として処理する方法

(2) 購入時に費用として処理する方法

		借方	貸方
(1)	①	消耗品 50,000	現金 50,000
	②	消耗品費 38,000	消耗品 38,000
(2)	①	消耗品費 50,000	現金 50,000
	②	消耗品 12,000	消耗品費 12,000